

学士・3年編入学試験  
電 気 理 論  
( 問 題 )

[1] 銅線で作られた図1のような長方形のループABCD ( $AD = BC = L$  [m]) がある。そして、磁束密度  $B$  [T] の磁界が図中に示す方向に紙面に垂直に全空間にわたって一様(場所によって変化しない)に分布しているとする。そして、ループの右辺の直線部BCが矢印(→)の方向(図の右方向)にスライドするものとする。次の各場合について、ループABCDに誘導される起電力  $e$  [V]とその向き(時計回り or 反時計回り)を求めなさい。

- (1) 一定(時間的に変化しない)な磁界  $B$  中を直線部BCが矢印(→)の方向に速度  $v$  [m/s]で動く場合。
- (2) 直線部BCが、図のように  $AB = CD = a$  [m]のところで動かない状態で、 $B$  の大きさだけが  $B(t) = kt^2$  [T]で時間変化している場合( $k$ は定数)。
- (3) (2)の磁界中を、直線部BCが矢印(→)の方向に速度  $v$  [m/s]で動く場合。但し、時刻  $t = 0$  で、直線部BCが  $AB = CD = a$  [m]の位置にあったとする。

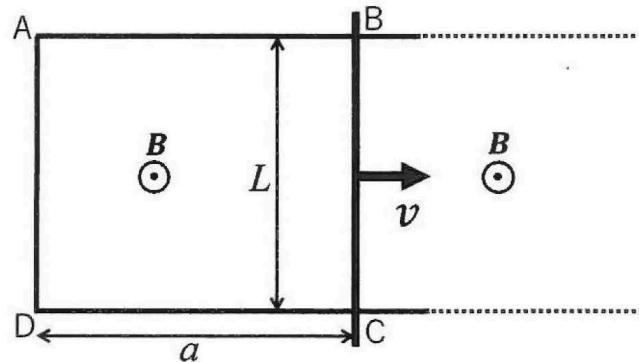


図1

- [2] マクスウェル方程式の一つであるファラデーの電磁誘導則の式を積分形式で書き、その物理的意味を説明しなさい。また、積分形式からストークスの定理を適用して微分形式を導出しなさい。

(以下記入不可)

学士・3年編入学試験  
電 気 理 論  
( 問 題 )

---

[3]  $e(t) = E \sin(\omega t)$  [V] (振幅  $E$ [V], 角周波数  $\omega$ [rad/s])の交流電源と, それぞれの抵抗値が  $R_1$  [ $\Omega$ ]および  $R_2$  [ $\Omega$ ]の抵抗器, 静電容量  $C$ [F]のコンデンサ(キャパシタ), インダクタンス  $L$ [H]のコイル, スイッチ  $S_1$ , スイッチ  $S_2$ およびスイッチ  $S_3$ で構成される図2に示すような回路がある。時刻を  $t$  [s], コンデンサの電圧を  $v_C(t)$  [V], コイルの電流を  $i_L(t)$  [A], コイルと並列に接続された抵抗の電圧を  $v_R(t)$  [V]とする。 $t=0$ において,  $S_1$ ,  $S_2$ および  $S_3$ はいずれも開いた状態にあり,  $i_L(t)$ ,  $v_R(t)$ , および  $v_C(t)$  はいずれも0であった。このとき以下の問いに答えよ。

- (1)  $t=0$ で  $S_2$ および  $S_3$ は開いたまま,  $S_1$ を開じた。十分な時間が経った後の  $v_C(t)$ を求めよ。
- (2) (1)の状態で  $v_C(t)$ がその最大値  $\sqrt{2}V_0$ [V]のときに,  $S_3$ は開いたまま,  $S_1$ を開き,  $S_2$ を開じた。十分時間が経った後の  $i_L(t)$ の最大値を求めよ。
- (3) (2)の状態で  $i_L(t)$ が最大値のときに,  $S_1$ は開いたまま,  $S_2$ を開き,  $S_3$ を開じた。この瞬間を新たに  $t=0$ [s]としたときの  $v_R(t)$ を求めよ。但し,  $\omega=1$ ,  $V_0=\sqrt{2}$ ,  $R_1=1$ ,  $R_2=0.5$ ,  $C=1$ ,  $L=1$ とする。
- (4) (3)のとき, 縦軸を  $v_R(t)$ , 横軸を  $t$ として  $v_R(t)$ の概形を描け。ただし,  $t=0$ での  $v_R(0)$ の値を明記せよ。

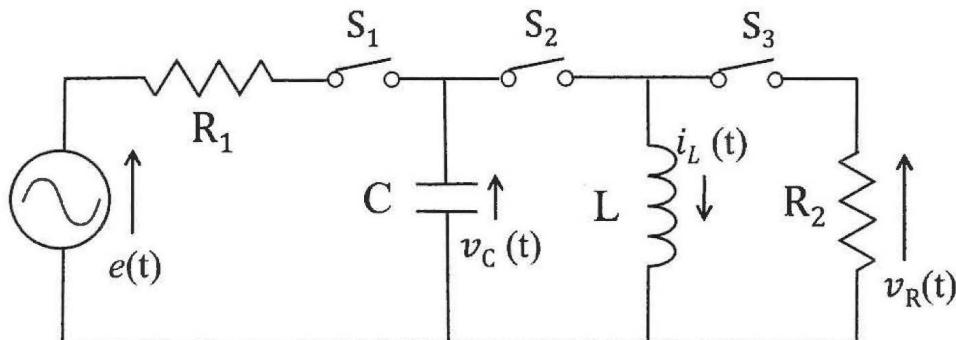


図2

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

2022年度 基幹・創造・先進理工学部

No.  /

採点欄

学士・3年編入学試験  
電気理論  
(解答用紙)

※裏面の使用不可

〔1〕

〔2〕

(以下記入不可)

受験番号	万	千	百	十	一

氏名	
----	--

2022年度 基幹・創造・先進理工学部

No.  /

採点欄

学士・3年編入学試験  
電 気 理 論  
(解答用紙)

※裏面の使用不可

[3]

(以下記入不可)